

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 小田 伸次

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	小田伸次	経理責任者	
視察議員	会派ともえ所属議員(小田、新家、弓掛、藤井、月橋)			
期 間	令和 2年 10月 20日 (火) ~ 令和 2年 10月 21日 (水)			
視 察 先	水木しげる記念館・小泉八雲記念館・鳥取二十世紀梨記念館(なしっこ館)・青山剛昌ふるさと館			
視 察 用 務	館運営の状況と今後について			
視察先対応者	水木:庄司館長・小泉:小泉館長、松江観光プロデューサー羽田、観光協会常務錦織・なしっこ館:佐藤館長・青山:石田館長			

<p>概要及び所見</p>	<p>水木しげる記念館:庄司館長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在も境港市の直営で年中無休で館を開いている。黒字で推移しているのでこれからも直営で運営されていくであろう。館長はじめ会計年度任用職員とパートが主に働いている。近くに出雲大社が有るのが安定した来館者の維持につながっているのではないかと。事。(観光ルート)三次とは、妖怪をテーマに地域間連携をはかっている。い。</li> </ul> <p>小泉八雲記念館:小泉 凡館長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の妖怪ブームと小泉八雲が残した作品に対してそれなりの入館者有り(年間8万人)、松江市観光協会との連携もしながら八雲の足跡を守っていき。この度の三館連携チケットの企画も観光協会の尽力で実現。三次市とは学術的にもコラボできる企画が組めそう。松江市としては1050万人の入り込み観光客。宿泊210万人(外人185万人)</li> </ul> <p>なしっこ館:佐藤館長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立の施設。53億の建設費と1億の管理料で観光財団が運営。年間12万人の来館(クルーズ船客が利用)日本唯一梨の歴史や情報を提供。正職6名専門職2名を含め20名で管理している。</li> </ul> <p>青山剛昌ふるさと館:石田館長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青山氏が毎年何某かの作品を寄贈している。近年インバウンドの来館者も増え昨年は約22万人の来館者。海外からの団体が増加しているのが特徴。毎年様々な企画を展開し街の活性化へと貢献している。</li> </ul>
<p>考察</p>	<p>各施設ともその地域の持っている特徴(歴史・伝統・文化・人物)を生かした施設を街の活性化へと繋げていく工夫をしている。直営・指定管理と管理方法は違えども、自信と誇りと熱意を持って運営している。継続していく上では、他施設や地域との連携も必要と考えられている。よって、三次市としてもテーマ等で繋がれるのであれば積極的に企画して取り組んで行くべきと考える。コロナによって人の流れが制限された令和2年であったが、山陰を訪れるインバウンド客を引っ張る工夫も必要だと感じた。面白い企画立案が不可欠であろう。行政も積極的に取り組むべきで有り、その先に経済の活性化の観点をしっかりと入れ予算化をすることを提案したい。</p>

令和2年11月15日

三次市議会

議長 新家 良和 様

三次市議会 会派ともえ

新家 良和

会派代表者

経理責任者

## 会派ともえ行政視察報告書

- ◆視察日程：R2年10月20日（火）～21日（水）
- ◆視察先：鳥取県水木しげる記念館、島根県小泉八雲記念館、他
- ◆視察内容：妖怪を生かした文化・観光・まちづくりについて
- ◆旅費明細：旅費明細等は、別途報告済み
- ◆視察所感：視察内容について考察する

### 1. 妖怪を生かした文化・観光・まちづくりについて

湯本豪一記念日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）は、開館以来1年半が経過した。R元年度末から、新型コロナウイルス感染症の影響で一時期休館を余儀なくされたが、初年度（R元年度）の入館者は計画を大きく上回り14.1万人を超えた。しかしながら、当初から課題であった三次本通りへの周遊や市内観光地への周遊は、成果に繋がっていないと判断する。

8月25日（火）から、中国3県が誇る「怪異の館」がタッグを組んだ新企画が始まった。鳥取県境港市の「水木しげる記念館」、島根県松江市の「小泉八雲記念館」、三次市の「三次もののけミュージアム」の3館が、周遊パスポートで廻れるものである。三次もののけミュージアムの課題解決のヒントがないか、他の2館を視察し集客や、観光、まちづくりについて教示頂いた。

水木しげる記念館は、館長の庄司行男氏に対応頂いた。来館者は25万人/年と伺ったが、管理している「水木事務所」にロイヤリティを10%払っている。役所頼みから脱皮し、商店街や観光協会との連携が極めて強いと受け止めた。三次もののけミュージアムとは、真逆と感じた。出雲大社や松江城の観光客が多く、広域の観光ルートができている。商店街とは設立当初色々問題があったそうであるが、「水木しげるロード」には100を超えるアニメのブロンズ像が設置され、観光客が270万人/年訪れるそうである。リピーターの確保とグッズ販売に注力し、指定管理ではなく独自の運営を行っている。入館者の

多さと商店街の賑わいを強く感じた。

小泉八雲記念館では、館長の小泉凡氏、松江観光協会の錦織裕司常務理事・羽田プロデューサーに対応頂いた。同館の設置者は松江市であり、山陰新報社が指定管理者となり、松江城、武家屋敷と一括管理を行っている。昨年の入館者は8万人と、減少傾向である。ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）の関係か、外国人観光客の入館者が多いのも特徴である。ロケーション的にも近隣に商店街はなく、3、4軒の店があるのみである。まちづくりや賑わいの創出には、無関係と受け止めた。指定管理料は31百万円で、入館料など売り上げは市の収入となる。市の持ち出し5百万円は、松江城の黒字でカバーしているそうである。

水木しげる記念館はアニメのキャラクター、小泉八雲記念館は妖怪文学、三次もののけミュージアムは湯本豪一氏の妖怪コレクションと、3館それぞれテーマが異なっている。今回の企画はR3年3月31日（水）迄となっているが、今後も3館が連携を取りながら継続するべきと考える。

今回主目的ではなかったが、帰路の途中鳥取県北栄町の「青山剛昌ふるさと館」を訪問した。「名探偵コナン」の原作者青山剛昌の出身地であり、名探偵コナンの聖地、新しい北栄町の観光スポットとなっている。当日も修学旅行生が多く来館していた。館長の石田敏光氏によると、「来週三和中学校が修学旅行で来館する」との報告を頂いた。H19年3月にリニューアルオープンし、事業費は2億円と伺った。極めて少ない投資でこれだけ賑わえば（R元年度22万人）、町は直営で継続するはずである。国内唯一の特別会計で運営している。水木しげるのゲゲゲの鬼太郎や青山剛昌の名探偵コナン、両館の入館者や商店街の賑わいは、アニメのキャラクターの影響が極めて強いと感じた。

三次もののけミュージアムは、R3年4月からDMOの指定管理となる予定である。初年度の結果から、集客力はあると思う。いかに三次町の賑わいや三次市の活性化につなげていくか、知恵を出さなければいけない。商店街との連携や観光協会との連携、キャラクターの発掘など学ぶところは多いはずだ。

以上

## 視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 藤井 憲一郎

下記の通り、会派による視察が終了したので報告します。

### 記

視察議員 (会派ともえ) 新家良和 小田伸次 弓掛元 藤井憲一郎 月橋寿文

期間 令和2年10月20日(火)～令和2年10月21日(水)

視察先 ① 境港市 水木しげる記念館 ② 松江市 小泉八雲記念館  
③ 鳥取市 鳥取県立博物館 ④ 倉吉市 鳥取二十世紀梨記念館(なしっこ館)  
⑤ 北栄町 青山剛昌ふるさと館

視察用務 3館周遊パスポート(小泉八雲記念館・水木しげる記念館・湯本豪一記念妖怪博物館)の実態検証  
地域の宝を活かした賑わい創出  
各施設の於けるコロナ禍による影響及び対策

等

視察先対応者 ① 庄司行男館長 ② 小泉凡館長、錦織裕司松江観光協会常務理事、羽田昭彦  
松江観光プロデューサー ④ 佐藤哲也館長 ⑤ 石田敏光館長

### 概要及び所見

①本市に「もののけミュージアム」を建設するにあたり、常々成功事として引合とされた施設である。水木しげる氏の功績という冠は偉大ではあるが、何より周辺地域との連携が素晴らしい。飲食店や土産屋等、一体とした「町おこし」の形がある。その歩みには紆余曲折もあったようであるが、庄司館長のバイタリティーの賜と認識した。成功には熱い思いを持ったリーダーが必要であり、本市でもそういった人材や組織が生まれる事を望みたい。

②今回の「3館周遊パスポート」の発案、リーダーシップは松江観光協会によるもの。30年前のピーク時、来館者年30万人から現在は8万人と減少はしているものの、一定程度の来館者を保っている。松江城にほど近いお屋代風の施設に、展示物も豊富で興味を引くレイアウトがなされている。とかく隣国に向かいがちなところ、ヨーロッパをターゲットにした観光誘致には驚いた。ここでも館長の熱意を強く感じた。

④「なしっこ館」については地域の特産農作物をテーマにした施設という事もあり、本誌でもピオーネ団地周辺に「アグリパーク」構想がある手前参考になればと伺ってみたところ規模が桁違いであった。県の施設、総工費53億というオバケ施設である。施設内は「梨」について実に興味深く、かつ知識を深められる工夫が盛り沢山であった。年間12万人の来場者とのことであったが隣県に住みながら自身も知らなかった施設であったので、アナウンスの必要性を感じさせられた。

⑤「名探偵コナン」といえば全国的な知名度や人気は絶大である。作者の生まれ故郷に作られた施設で年間22万人と集客も多く、修学旅行でも多く訪れるよう。北栄町直営、特別会計で運営されている何とも羨ましい限りである。作者青山剛昌氏が育った地とは偶然かもしれないが、本市からも個性的な成功者が生まれやすい土壌を作ること、阻まない環境を作りたい。

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名

弓掛 元

印

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	小田 伸次	経理責任者	藤井 憲一郎
視 察 議 員	会派 ともえ 5 議員			
期 間	令和2年10月20日 ~令和2年10月22日			
視 察 先	水木しげる記念館 小泉八雲記念館 青山剛昌記念館 なしっこ館			
視 察 用 務	三次市の観光戦略の今後の模索			
視察先対応者	各施設館長			
概要及び所見	<p>今回の視察は、去年オープンした、もののけミュージアムを核にいかに市内への誘客を図るか、また経済効果を上げて行くかのヒント、参考になればと行った。松江市、境港市、三次市の妖怪関連の3施設を連携した周遊パスポートを初めて企画したが画期的な取り組みであると強く感じた。水木しげる館ではスーパー館長にじっくりと当初からの経緯、地元への浸透、爆発的なブームなど三次本通商店街への今後の方向性に大変参考になった。小泉八雲館でも沢山のヒントをもらった。観光協会との連携も良好で参考になった。フランスなどインバウンドの対応 市に国際観光課を作るなど先進性も学んだ。コナン記念館も館長のやる気、エネルギーを感じた。コナンでの町興しを官民一体でされていることに感心した。</p> <p>なしっこ館は予想以上の規模で圧倒されたが梨をテーマに様々な展示、企画があり本市でも計画しているアグリパークの参考になると確信した。</p> <p>平井鳥取県知事にも妖怪道構想を提言してもらっており是非流れをつくり乗って行きたい。</p>			

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名

月橋寿文

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	印	経理責任者	
視 察 議 員	会派ともえ議員5名 新家・小田・弓掛・藤井・月橋			
期 間	令和2年10月20日（火）～ 令和2年10月21日（水）			
視 察 先	1 水木しげる記念館 2 小泉八雲記念館 3 鳥取県立博物館 4 鳥取二十世紀梨記念館 5 青山剛昌ふるさと館			
視 察 用 務	湯本豪一記念日本妖怪博物館・水木しげる記念館・小泉八雲記念館の3館周遊パスポート発行などの取組について調査			
視察先対応者	1 水木しげる記念館 庄司行男館長 2 小泉八雲記念館 ・小泉凡館長 ・松江観光協会 羽田昭彦松江観光プロデューサー ・松江観光協会 錦織裕司常務理事 4 鳥取二十世紀梨記念館 佐藤哲也館長 5 青山剛昌ふるさと館 石田敏光館長			
概要及び所見	1 水木しげる記念館 市直営の運営 2019年25万人来館 2020年コロナにより80人/1時間に来館数を調整中 商店街会費2万円/年 境港に水木プロダクションの事務所があるため、グッズは商店街の店舗でも制作可能 商店街と観光協会と境港市とがお互いに協力して集客 圧倒的な知名度を活用して商店街全体を盛り上げている  2 小泉八雲記念館 指定管理者の運営 2019年8万人来館 松江城近隣400万人/年 宿泊者210万人/年（内外国人8万人 ヨーロッパが多い） ゴーストツアーなどを企画している 今後DMO組織化を目指している 松江城を中心に密接して作られているため、ついでに観光ができる 松江城を活用して松江市中心部を盛り上げている			



### 3 鳥取県立博物館

昆虫や魚など身近なものの展示が多く、誰でも興味を持てる作りになっている 特別展は、フィンランド展でしたが、あまり他では無いような企画展を工夫されている

### 4 鳥取二十世紀梨記念館

指定管理者の運営 20名のスタッフ(内正社員6名 専門家2名)  
建設費 53億円 2019年 13万人来館 15%はインバウンド(韓国台湾) 鳥取県の中心位置にある倉吉市の情報交流施設 なしっこ館という日本唯一梨のテーマパーク 同じ施設内に、図書館・生涯学習センター・温水プールなどが一体化している 国と県の補助金を活用して作られた大きな建設物である 倉吉市の維持管理費が今後の課題

### 5 青山剛昌ふるさと館

365日休館日なし スタッフ9名 2019年 22万人来館  
名探偵コナンの作者である青山剛昌が生まれ育った鳥取県北栄町をコナンの知名度を使って最大限盛り上げている 平成19年に2億円を掛けてリニューアルオープンをしている 北栄町の特別会計が主な事業予算であったが、利益が出ているため、町債は早期完済済み 平成9年4月コナンの里構想を開始 すいか・ながいも健康マラソン大会のTシャツにコナンくんを採用したところからスタートし、地域振興券、マンホールふた、コナン像、コナン列車、コナン駅、米花商店街など全てにコナンを採用し一点集中突破でまちづくりを継続されている

これらの視察を参考に、湯本豪一記念日本妖怪博物館の運営を考えた場合、下記のことが必要になるのではないかと

- ・人気キャラクターの確立
- ・グッズの充実
- ・運営組織の一本化
- ・近隣商店街との協力
- ・知識と行動力を持った館長の選任
- ・三次町への飲食店やショップの誘致

これらのことを実行して早期の黒字運営、そして三次町商店街の活性化を切に願う

